

# 香美町ならではの 教育の挑戦

●問い合わせ先 町教育委員会生涯学習課

町教育委員会では、ふるさと香美を愛し、夢や志を抱き、故郷に誇りをもって育つよう、ふるさと教育の推進として小学生を対象に「ふるさとおもしろ塾」を開催しています。

今回は、村岡区中央公民館が村岡・小代区の小学生を対象に実施した「ふるさとおもしろ塾 夏」を紹介します。子どもたちの夏休み期間を利用し、地域の「ものしり博士」や高校生とふれあうことにより、生まれた町の良さを体感し、ふるさとに愛着を持つ体験ができました。

## シャワークライミング

最近では、近くに川があってもなかなか入る機会がありませんが、シャワークライミングを通して川の流れに触れ、においや水温などを体験しました。

川に入ってから、ものしり博士や高校生に教えてもらいながら、両手両足を使ってゆっくり川を登って行きました。登っている途中にある淵では飛び込みをしたり、川底が滑床になっているところでは天然のウォータースライダーをしたり、川遊びを楽しみました。



▲全身で川の流れを感じました（作山川）。



▲狙いをつけて慎重に竿を振りました（昆陽川）。

## いなかの川釣り

手軽にできるキットなども販売されていますが、昔ながらの竹竿を使い、川釣りに挑戦しました。

水面に見える鱒をめがけて釣り針を降ろしますが、低学年の児童は、初めはなかなか狙った場所に降ろせません。少し慣れてくると、鱒が食いついたときのタイミングをものしり博士に教えてもらいながら釣り上げていました。高学年の児童は上手にポイントを狙って釣り上げ、1時間程度で7匹釣り上げた児童もいました。

## 木工細工に挑戦

枝の切れ端や加工した木の端切れを使い、児童一人一人が自由に発想したオリジナルの木の置物などを作りました。

小さい枝や曲がった枝を組み合わせたり、ノコギリで切って長さを合わせたりして、ロボットのキーホルダーやかわいい置物、木の形を生かして恐竜やネッシーのような未確認生物を作成しました。児童の発想は無限です。



▲さまざまな形を組み合わせ、オリジナリティある作品に仕上げました。